

問1 日本銀行が担う「発券銀行」としての役割と、政府や国会の役割を区別したとき、日本銀行の業務として正しい説明はどれですか。 (2017年

岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 道路や橋、公園などの社会資本を直接供給し、経済基盤を整備する | 2. 国会において、国の収入と支出の計画である予算を審議し議決する | 3. 電気やガスなどの公共料金の価格を決定し、国民生活の混乱を防ぐ | 4. わが国唯一の中央銀行として、日本銀行券を発行し流通量を管理する |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|

問2 不景気の際、日本銀行が市場に出回るお金の量を増やし、景気の回復を促すために行う操作の仕組みとして、正しいものはどれかを選びなさい。

(2020年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 政府が増税を実施して消費を抑えることで、過度な物価上昇を鎮め、家計の負担を軽減する。 | 2. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い取り、代金を支払うことで、銀行が企業などへ貸し出せる資金を増やす。 | 3. 政府が公共事業への支出を増やすことで、民間の建設会社などの売上を増やし、市場全体の通貨量を増やす。 | 4. 日本銀行が一般の銀行へ国債を売り、代金を回収することで、銀行が企業などへ貸し出せる資金を減らす。 |
|---|---|--|---|

問3 景気が過熱して物価が急激に上昇するのを抑えるため、日本銀行は市場の通貨量を調整する「公開市場操作」を行います。この際、日本銀行が民間銀行に対して国債を売り、世の中に出回る通貨の量を減らす操作を何といいますか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|------------|
| 1. 政策金利の引き下げ | 2. 買いオペレーション | 3. 売りオペレーション | 4. 支払準備率操作 |
|--------------|--------------|--------------|------------|

問4 景気対策として日本銀行が実施する金融政策において、不景気時に行われる「買いオペレーション」の仕組みとその影響を説明した文章として、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 日本銀行が銀行へ国債を売却することで、銀行の資金を減少させ、円の価値を下げて輸出産業を有利にする。 | 2. 日本銀行が銀行から国債を買い入れることで、金利を意図的に上昇させ、過剰な消費や投資を抑え込もうとする。 | 3. 日本銀行が銀行から国債を買い入れることで、銀行が保有する資金を増やし、企業や個人への貸し出しを促進させる。 | 4. 日本銀行が銀行へ国債を売却することで、市場にある資金を日本銀行が回収し、物価の急激な上昇を抑制する。 |
|--|--|--|---|

問5 日本銀行が「売りオペレーション」を行った際に、市場の金利や経済活動に与える影響として正しい組み合わせはどれですか。 (2022年

静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 市場の通貨量が増加し、金利が上昇することで、輸出企業の国際競争力が高まる。 | 2. 市場の通貨量が減少し、金利が低下することで、物価の下落がさらに加速する。 | 3. 市場の通貨量が増加し、金利が低下することで、企業や家計の資金借入が活発になる。 | 4. 市場の通貨量が減少し、金利が上昇することで、企業や家計の資金借入が抑制される。 |
|--|---|--|--|

問6 不況（景気後退）の際、日本銀行が景気を刺激するために行う金融政策として、適切な説明はどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 日本銀行が公共事業の支出を増やし、雇用の機会を創出する。 | 2. 日本銀行が所得税の増税を決定し、家計の消費を抑制させる。 | 3. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場に出回る通貨の量を減らす。 | 4. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場に出回る通貨の量を増やす。 |
|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|

問7 日本銀行が「銀行の銀行」と呼ばれている理由を、その仕組みから説明したものとして正しいものはどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|--|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 政府の指示に基づいて、すべての銀行の支店設置場所を決定するため。 | 2. 民間の金融機関のみを取引相手として、資金の預かりや貸し出しを行うため。 | 3. 世界中の主要な銀行に資金を提供し、国際的な通貨価値を統一するため。 | 4. 全国の銀行の経営方針を決定し、銀行員の人事権を掌握しているため。 |
|-------------------------------------|--|--------------------------------------|-------------------------------------|

問8 日本銀行が「買いオペレーション」を実施した際、市場におけるお金の流れや経済への影響はどのように変化すると考えられますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 高知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 日本銀行が市中銀行へ国債を売り出すことで、市場の通貨量が減少し、物価の上昇を抑える効果が生まれる。 | 2. 日本銀行が市中銀行から国債を買い取ることで、銀行の資金に余裕ができ、企業への貸し出しが増えて景気が刺激される。 | 3. 日本銀行が政府から直接国債を買い取ることで、公共事業の予算が増え、雇用が直接的に創出される。 | 4. 日本銀行が市中銀行から国債を買い取ることで、市場の通貨量が減少するため、通貨の価値が上がり円高が進む。 |
|--|--|---|--|

問9 私たちの経済生活において、貨幣は物々交換の不便さを解消し、スムーズな取引を支える重要な役割を担っています。リンゴやペンといった商品を購入する際に、貨幣がその代金として支払われることで、財（モノ）やサービスと引き換えられる働きを何と呼びますか。 (2021年

佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. 価値の保存 | 2. 支払手段 | 3. 交換手段 | 4. 価値の尺度 |
|----------|---------|---------|----------|

問10 一般的な銀行（普通銀行）の収益の仕組みについて述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 預金者から手数料を受け取り、それを全額、企業への貸し出し資金に充てることで収益を上げる。 | 2. 貸し出し利率を預金利率よりも低く設定し、その差額を「利ざや」として収益にする。 | 3. 中央銀行からの補助金によって、預金者に支払う利子と企業から受ける利子の不足分を補う。 | 4. 預金利率を貸し出し利率よりも低く設定し、その差額を「利ざや」として収益にする。 |
|---|--|---|--|

問11 好景気（好況）の際には、消費者の購買意欲が高まって商品の売れ行きが良くなり、企業の生産活動がより活発になります。このような経済状況において、物価が継続的に上昇し続ける現象を何といいますか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------|-------|------------|-------------|
| 1. スタグフレーション | 2. 円高 | 3. デフレーション | 4. インフレーション |
|--------------|-------|------------|-------------|

問12 日本の中央銀行である日本銀行は、民間の金融機関（市中銀行）には認められていない、国全体のお金の流通量を管理するための独占的な権限を持っています。日本銀行が、日本で唯一、紙幣（日本銀行券）を発行・供給することができる役割を何と呼びますか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. 政府の銀行 | 2. 発券銀行 | 3. 管理銀行 | 4. 銀行の銀行 |
|----------|---------|---------|----------|

問13 近年、クレジットカードや電子マネーなどを利用したキャッシュレス決済が急速に普及している。これらの決済の多くは、銀行口座にある資金を移動させることで行われるが、このように銀行などに預けられ、支払い手段として利用できるお金を経済学上の用語で何というか。 (2025年

青森県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 基軸通貨 | 2. 現金通貨 | 3. 預金通貨 | 4. 暗号資産 |
|---------|---------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 わが国唯一の中央銀行として、日本銀行券を発行し流通量を管理する	日本銀行は「中央銀行」として、通貨（日本銀行券）の発行と管理を通じて経済の安定を図ります。これに対し、予算の議決は国会が行い、公共料金の認可や社会資本（インフラ）の整備は、主に政府や地方公共団体が政策として行う業務であるため、中央銀行の役割とは異なります。
問2	答え 2 日本銀行が一般の銀行から国債を買い取り、代金を支払うことで、銀行が企業などへ貸し出せる資金を増やす。	不景気の時には「買いオペレーション」が行われます。日本銀行が民間銀行から国債を買い入れることで、その対価として支払われた通貨が民間銀行に蓄えられます。これにより、銀行から企業や個人への貸し出しが活発になり、市場に出回るお金が増えて景気が刺激されます。
問3	答え 3 売りオペレーション	景気が過熱しているとき、日本銀行は世の中のお金の量を減らすことで経済を落ち着かせようとします。日本銀行が持つ国債を民間銀行に売ると、その代金として民間銀行の資金が日本銀行に吸収されます。これにより、民間銀行が企業や個人に貸し出せるお金が減り、経済活動が抑制される仕組みです。
問4	答え 3 日本銀行が銀行から国債を買い入れることで、銀行が保有する資金を増やし、企業や個人への貸し出しを促進させる。	日本銀行が行う買いオペレーションの主な目的は、市場の通貨量を増やして景気を向上させることにあります。日本銀行が国債を買い入れると、その対価として支払われた現金が民間銀行の資金源となります。銀行の資金に余裕ができると、企業などへの貸し出しが活発になり、経済活動が活性化します。逆に、国債を売却する売りオペレーションは、景気が過熱している際に通貨量を減らすために行われます。
問5	答え 4 市場の通貨量が減少し、金利が上昇することで、企業や家計の資金借入が抑制される。	売りオペレーションによって民間銀行の資金が日本銀行に吸収されると、銀行が貸し出しに回せるお金が少なくなります。希少となった資金の「価格」にあたる金利は上昇し、高い金利を嫌って企業や家計はお金を借りにくくなります。これにより、消費や投資といった経済活動が落ち着き、物価の上昇を抑える方向に働きます。
問6	答え 4 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場に出回る通貨の量を増やす。	景気が悪いとき、日本銀行は一般の銀行が持っている国債を買い取る「買いオペレーション」を行います。これにより、代金として支払われた現金が一般の銀行に供給され、世の中に出回る通貨の量が増加します。その結果、企業や個人が資金を借りやすくなり、経済活動が活発化して景気の回復が図られます。なお、増税や公共事業は政府が行う財政政策であり、日本銀行が行う金融政策とは区別する必要があります。
問7	答え 2 民間の金融機関のみを取引相手として、資金の預かりや貸し出しを行うため。	日本銀行は、私たち一般の個人や民間企業との取引は行いません。その代わりに、三菱UFJ銀行や地方銀行といった「民間の金融機関」を相手に、資金の貸し出しや預金の受け入れを行います。このように、銀行にとっての「銀行」のような役割を果たしていることから、この名称で呼ばれます。これにより、金融市場全体の資金供給量をコントロールしています。
問8	答え 2 日本銀行が市中銀行から国債を買い取ることで、銀行の資金に余裕ができ、企業への貸し出しが増えて景気が刺激される。	買いオペレーションが行われると、日本銀行から市中銀行へ代金が支払われます。これにより市中銀行が持つ資金（通貨量）が増え、企業や個人への貸し出しが活発になります。その結果、世の中全体に回るお金が増え、景気を回復させる方向へ力が働きます。国債を売って通貨量を減らすのは好景気の際の抑制策であり、買いオペレーションの目的とは逆の効果になります。
問9	答え 3 交換手段	貨幣には主に3つの機能がありますが、その中でも最も基本的なものが、モノやサービスと直接やり取りされる「交換手段」としての機能です。物々交換では「自分の欲しいものを持つ相手」かつ「相手が自分の持っているものを欲しがっている」という一致が必要ですが、貨幣が仲立ち（媒介）となることで、誰とでも自由に、効率よく取引を行うことが可能になります。
問10	答え 4 預金利子率を貸し出し利子率よりも低く設定し、その差額を「利ざや」として収益にする。	銀行は預金者から集めた資金を、資金を必要とする企業や個人に貸し出すことで仲介役を果たします。この際、企業などから受け取る「貸し出し利子率」を、預金者に支払う「預金利子率」よりも高く設定することで、その差額である「利ざや」を主な利益の源泉としています。これが銀行の経営を支える基本的な仕組みです。
問11	答え 4 インフレーション	好景気のときには、モノやサービスに対する需要が供給を上回りやすくなるため、物価が上がります。この現象をインフレーションと呼びます。これとは逆に、不景気で物価が下がり続ける状態はデフレーションと呼ばれます。
問12	答え 2 発券銀行	日本銀行はわが国で唯一、紙幣（日本銀行券）を発行する権利を持つため「発券銀行」と呼ばれます。これにより、通貨の発行量を一元的に管理し、景気や物価の安定を図るための金融政策を行うことが可能になります。なお、硬貨（貨幣）については政府（財務省）が発行し、日本銀行を通じて世の中に送り出されます。
問13	答え 3 預金通貨	紙幣（日本銀行券）や硬貨は、手渡しで使う「現金通貨」と呼ばれる。これに対し、銀行の普通預金や当座預金などは、クレジットカードの引き落としや振り込みなどを通じて支払いに利用できるため、「預金通貨」と呼ばれる。現代の経済社会では、現金通貨よりも預金通貨の方がはるかに大きな金額で取引されている。